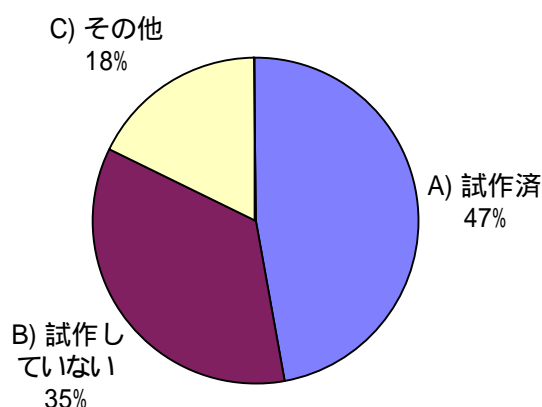


2.2.4 試作評価

選択項目	集計	H13	H12	H11	H10	H9
A) 試作済	16	1	4	4	3	4
B) 試作していない	12	5	3	1	3	
C) その他	6	2	1	2		1
D) 複数選択	0					
	34	8	8	7	6	5



選択項目	集計%	前回報告%
A) 試作済	47	29
B) 試作していない	35	55
C) その他	18	15
D) 複数選択	0	1

図表 2.2.4.1 助成テーマに関してデモンストレーションが可能な装置を試作しましたか？（設問 8）と前回報告との比較

前回報告では A) 試作済が 1/3 弱であったが、今回は 1/2 弱まで伸びている。

C) その他は前回報告とほぼ同じくらいであった。その内容の方も前回報告と同様に

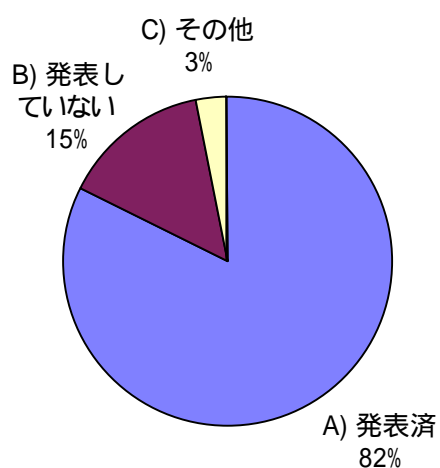
- ・ 実験を行うためのシステムを開発
- ・ 試作中、或いは試作したが既に破棄

といった試作済に準じるものが殆んどであった。

試作済が今回伸びていることは、調査対象年数が前回報告より 3 年分少ないことを考慮するとより特徴的な傾向といえる。学内でも研究を具体化してアピールする必要性が増しているであろう。

2.2.5 学会発表

選択項目	集計	H13	H12	H11	H10	H9
A) 発表済	28	5	7	6	6	4
B) 発表していない	5	3	1			1
C) その他	1			1		
D) 複数選択	0					
	34	8	8	7	6	5



選択項目	集計%	前回報告%
A) 発表済	82	80
B) 発表していない	15	12
C) その他	3	7
D) 複数選択	0	1

図表 2.2.5.1 助成テーマに関して学会で論文を発表しましたか？(設問 9)と前回報告との比較

学会での論文は 8 割が A)発表済であり、前回報告と同様の結果となった。C)その他の 1 件は説明がなかった。